



海の便り



スモールレース、最後まで競り合うメーベとM&T、フィニッシュは1秒差でメーベが優勝

会報目次

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| CHAPTER1 | スモールクルーザーレース |
| CHAPTER2 | 鳥羽パールレース
(ダンシングビーンズ IRC クラス B 優勝) |
| CHAPTER3 | 蒲郡マリンカップ成績 |
| CHAPTER4 | 第 14 回理事長杯ヨットレースご案内 |
| CHAPTER5 | MCC 会費の納入のお願い |

行事予定

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 8 月 5 日 | 蒲郡マリンカップヨットレース・東海フェスティバル
JSAF 安全講習 |
| 8 月 19 日 | 蒲郡ヨットハーバー理事長杯レース(MCC3月レース代替) |
| 9 月 16 日 | MCC9月佐久島レース(早朝) |
| 9 月 23 日 | 伊勢湾マリンカップ(セントレア沖) |

スモールクルーザーレース

艇名	型		GTA	TSF	着順	所要時間	修正時間	順位
バイキング	X79	675	720	0.8333	1	0:57:10	0:47:38	3
メーベ	YAM23	755	760	0.7895	2	0:59:11	0:46:44	1
ホープ	YAM21C	780	785	0.7643	5	1:03:37	0:48:37	4
M & T	YAM23	755	760	0.7895	3	0:59:12	0:46:44	2
ロシナンテ	Sun Beam22	770	770	0.7792	4	1:02:42	0:48:51	5

7月スモールクルーザーレース手記

メーベ 山村

今年のスモールクルーザーレースは昨年と違い順風の良い日が多い。昨年は本当に無風～微風ばかりで苦しめられた私達。今年も例外ではなくやはり微風のレースは成績不振。7月のスモールは順風にて、ばっちり勝たせて頂きました！

コースは、赤-赤灯台スタート 小島 仏島 大島 赤-赤流しこみフィニッシュ の比較的短いコース。8月に行われるマリンカップの練習試合とも言えるレースです。風はほとんどシフト無く南南西。風速は3～5m/sといったところか？スタートから目指す小島まではスータボタックのクローズホールド一本という印象。今回は、名鉄 日産マリーナから、M&T とロシナンテの2艇がゲスト参戦。和やかな艇長会議の中にも、若干の緊張感が？

スタートは、三谷漁港寄りの赤灯側から出た方が有利と判断し、ポートで堤防ぎりぎりまで寄ってタックしてスタボに返すと、すぐにスタートライン。少しフライング気味か？と感じ一旦ベア、すぐにラフイングしてスタート！後からコミッティをされた高雄さんから聞くところによれば、もう5秒程早く出ても良かった。」との事。まあ、あれだけ長いスタートラインだから上出来でしょう。



スタート後の位置関係は、上からメーベ、後方にM&T、下にホープ、ロシナンテ、バイキングといった感じ。自分達は、上り角度重視で目一杯大島寄りへ、M&Tはしばらく後方について来ましたが、だんだんと下へ離れて行きスピードを稼いでいる様子。他の艇に関しても我々よりどんどん下へ離れて行く中、ひたすら上り角度キープ。ホープは角度、スピードともに今回は遅い？バイキングの角度は落ちているが、スピードは抜群、あっという間に米粒程度の大きさになってしまいました。

大島、小島を右に見て上り、仏島までのポートランにいつ切り替えるか、これが今回の島周りの大きな要素だったと思われます。タックを返したのはホープが一番手、小島近くをポートで上がってきます。次に我々、レイラインには入っていませんが、細かく刻んで早く仏に近づきたい。次に M&T、バイキング。バイキングは大分奥まで走っていたので、レイラインを見極めてタックした様子。結局、仏島回航はバイキング、メーベ、M&T、ホープ、ロシナンテの順。最初のタックを返してから仏の回航までの、間にM&Tとは2回クロスして、1勝1敗。同型艇だけにはいい勝負です。結局小島回航からフィニッシュまで、M&Tとはマッチレースでした。

仏島から大島西までのアビームラン。バイキングは大島から大きく離れて廻っていく。我々は、スピードを殺さない程度に、大島方向へ落とし気味に走りました。もちろん M&T には完璧にマークされています。大島回航後のダウンウインドも踏まえて有利なポジションはどっちか？非常に考えながら走ったレースでした。バイキングはスタボのスピランで、我々とM&Tは先ずはポートのスピランで竹島方向へ。途中ジャイブしてスタボに。フィニッシュはバイキングがトップ、約1分遅れで、我々ヤマハ23 2艇が1秒差でフィニッシュ！地元の意地で絶対に負けられない！仏島からずっとカバーしながら結局は僅差で逃げ切り。ハーバーの入り口に2艇並んでのスピンの流しこみフィニッシュは手に汗握る非常にスリリングな争いでした。M&Tさんの激しくもフェアな走りのおかげで、岸壁にぶつかることなくレースを終える事が出来ました。又、ここまで接近したマッチレースは初めての事だったので、いろいろと勉強になりました。ありがとうございました。



その後、ロシナンテ、ホープの順でフィニッシュ。順風で距離も短かった為、各艇の差は小さく、修正後のタイムも2分弱の差で全艇フィニッシュし、レベルの高いレースだったと思われます。今年の総合ポイント争いトップは現在バイキングか？残りの数レースでなんとか逆転したいメーベでした。

その後、ロシナンテ、ホープの順でフィニッシュ。順風で距離も短かった為、各艇の差は小さく、修正後のタイムも2分弱の差で全艇フィニッシュし、レベルの高いレースだったと思われます。今年の総合ポイント争いトップは現在バイキングか？残りの数レースでなんとか逆転したいメーベでした。

その後、ロシナンテ、ホープの順でフィニッシュ。順風で距離も短かった為、各艇の差は小さく、修正後のタイムも2分弱の差で全艇フィニッシュし、レベルの高いレースだったと思われます。今年の総合ポイント争いトップは現在バイキングか？残りの数レースでなんとか逆転したいメーベでした。



鳥羽パールレース

第48回パールレース参加報告

海陽のクレーン下でぺこぺこ頭を下げながら最後まで仕事の調整をしているクルーが「もう海の上に居るので・・・」と、やっと携帯を切った。いよいよ毎年恒例の50マイル回航へ出発。彼はどうも「帰って来い!」と言われているらしい?サラリーマンセーラーは辛い!自分も、ここ数日は業界に起こった突発事故で必至の思いだったが、何とか今年もこの日を迎える事ができた。

実を言うと、今年のパールには期するところがある。まずはIRC元年でダンシングもIRCでエントリーした。また、セールが熟年期に入りこれ以上虐められないお年頃になった事。更には艇の購入以来、へたりの激しかった7年目のバッテリーを思い切って新調した事、など物理的な要素と、家族持ちクルーの身体的、精神的、拘束によるモチベーションの低下防止がもう一つの要素だ。もっと言うところ数年、毎年味わって来た苦汁、あの悔しい思いを何とか払拭して全国区のタイトルを狙いたいと言う欲望である。

梅雨明けしたばかりの五ヶ所にはいつもの様に大小様々なヨットが集まって、とは言っても、今では30fクラスは最小艇で、我々のエントリーしたIRCクラスBではシーム31はヤマハ30Sとエスプりに次ぐ小さな船だ。

このレースも一頃の賑わいはすっかり影をひそめ、その分お祭りの要素が無くなってレースに対する静かな闘志を感じる雰囲気になって来た。定宿になりつつある田舎浦の浜口屋に今年のメルボルン大阪に出場した方が友人の応援で泊まっていた。氏曰く、僅か1マイルで風が全く違ったり、一週間もカームが続いたり・・・。どうも話のスケールが違う。

昨年同様、朝は海からビープルへ送ってもらった。仕舞い込めない程の氷を積み込んで準備OK。私が好きだった鳥羽の頃のパレードも今は記憶の中にしか無い。それでもビーンズはチームカラーの黄緑色のファイティングフラッグをなびかせながら意気揚々とスタート海面へ出掛けて行った。今年のスタートはスピンスター。リミット側から攻めるか?本部艇「すおう」側から攻めるか?

ラインを流しながら考えるが、ミーハーな我々は有名な巨大艇に目を奪われて集中出来ない。5分前から真剣に調整するが、どうやら本部艇側が空いている!



号砲に合わせてスタートすると上にX40とSEAM33が居て影響を受ける。仕方が無いので、かなり落としてトリムするが風は弱く難しい。おまけに事前の潮流情報とは逆の2ノットの逆潮があり、艇速の半分しか対地速度が出ない。

じれて沖出しを決めた数艇が南の方角に小さくなる中で上に居たエリオットの16mもタックをして来た。なんと!彼らの前を横切る事になっても、我々はまだまだ長い先の事を考えて、そのままのタックで大王まで我慢する事を決めていた。風は落ちて既にライトゼノアに代えていた。奇しくも東海の2艇とデッドヒートを繰りひろげるが、ここではあまり意味が無い。相変らずの微風と逆潮に周りの船はあちこち動いている様子だったが、ひたすらプロパーコースにこだわって進めた。まんじりともせず時間が過ぎるので、少しずつではあるが景色も変って遠くに霞んでいた大王もいつしか視界から消えた。

夕方になると、再びスピンの使える様になりスピードも徐々に上がって、暑かった日差しが緩やかになって日陰に居なくても耐えられる様になる。それでもGPSを見ると浜松の沖合にも来ていない。このペースはさすがにやばい！



太陽が美しく赤色に変わって海の近くまで降りてくると、もっと涼しくなって気持ちにゆとりが出てくる。万難を排してここに来た者だけに与えられる幸せを実感できる様になる。「ロングレースは楽しい！」と思える一瞬だ。波切りの音も耳に心地よく聞こえる。薄暗くなると海面にゆらゆらと月明かりが映し出されて更に気持ちが落ち着いてくる。2時間交代のナイトシフトを始めて昼間の疲れを癒す事にする。何回目の休息が終わった頃だったか？デッキに出ると月は沈んで漆黒の闇がダンシングを包んでいた。さっきまでの明るい月の代わりに頭上には満天の星が広がる！久々に見る天の川に暫しの間、心を奪われた。が、しかし、夜半を過ぎてGPSを見ると進路がおかしのに気づく。風が弱いので風に付いて行く様にコースを取って来たが、あまりにも南に来過ぎている。プロパーに戻さなくてはいけない！ジャイブを決めて御前崎へ進路を取った。船の輪郭が薄っすらと見えるようになって、夜が明けると同時に風も上がった。さあ！遅れた分を取り返すべく気合も入る。ありがたい？事に風は予想に反してどんどん上がってくる。遂には藍色の海面に白波が見えるまでになった。

海水が作る三角形の上部がソーダ水の色に変わり、それが千切れ飛び散る姿が実に綺麗で、正に真夏のパールレースならではの光景だ。

しかしながら、外洋で25ノットオーバーのスピンラン、おまけに数秒間止まらないプレーニングはスリリングでアドレナリンは全開である。ヘルムスマンが「舵が効かない！」と言い出した。気づくとバウから波しぶきが上がって、フォアステイがだらだらだ。「皆、後ろに乗ってくれ！」興奮気味に言った！スピードメータは12ノットを優に超えている。本当にすごい風の力に後押しされてる感じた。船のローリングと安全を考えて一先ずスピンを下す事にする。

No3で間髪入れず走り出すが相変わらず9ノット以上で快走する。暫く走ると20ノットを割るところまで風が落ち着いたので再びスピンをセットする。振り返ると「すおう」が追っかけて来るので、「カッコ悪い姿は見せられない！」とスピンアップ！すぐ横を通り抜けてく艦橋に向かって大きく手を振った。



あれ？マストを見上げると、まだスピンの上がり切って無い！あと50cm、しまった！かっこわるう。それでも艇速を落とさずに走り続けた甲斐あって、あっという間に石廊崎を越えて利島が現れた。三河湾の島々と違って、いつ見ても大きな島だ。回航の段取りを考えていると下からFARR34とFIRST36.7がやって来る。彼らの方が先だ。風に落としながら島を回ったのが16時29分だった。多少島のプランケで風が収まるのかと思いきや、依然として衰える事無く吹きまくっている。このままでは大島ハイウェイに乗る事が出来ないのスピンを諦めてジブにチェンジする。先に行ったFIRSTが隣になってクルーの顔までよく見える。大島の南端まで来ると、また風が落ちてスピンの上がる風になって来た。大島側に居るFIRSTはスピンを上げて船が止まったままで走っていない。ここからは我々が先行する事になった。

大島ハイウェイに乗る事が出来、対地では2ノット近くの追潮を味方に付けた。島の明かりを横目で見ながら、このスピードなら2時半には江の島に着けるとGPSの表示を伝えたと皆の顔が緩んだ。所がヨットレースはそんなに上手くいかないのが常。大島を越えて進路を変更すると案の定だが風が落ちて来た。

毎年ゴールが近くなると強敵が何処からともなく現れる。これが又、決まってダンシングと近いレーティングの船ばかりが現れる。当然と言えば、当然だが30数時間も走って来て何でこんな処で数秒を争うのか？予想を遙かに越えてやっとの思いで江の島の光が確認できる所まで来た。最後の最後までカームに捕まり、あさっての方角に向くのは数年前の熱海とか初島で苦しんだあの悪夢の再来を思わせるような状況だった。辺りには我々と同じ気持ちの船が数杯見えるが、全てのシルエットが大きかった様な気がする。終演を迎える舞台としては赤や緑の灯りがばらばらだ。おまけに「はしだて」の横に有る筈のインナーが、結構外側の離れた所に有るので間違えてDNFになった船も居たそうだ。実際、我々がフィニッシュの際にサーチライトが照らしていたのはインナーでアウターはもっと外側のフラッシュの付いたマークだった。三十数時間走ってDNFじゃあやってられない！隣のママと殆ど同時だと思ったがホーンは数秒間隔があった。7月29日午前2時28分1秒フィニッシュ。

今年も完走する事が出来た。長い間、ヨットレースに打ち興じた結果、毎年、素晴らしい思い出を記憶のページに追加、留める事が出来ている。それはサラリーマンではあるが私の人生の大切な宝物の一つだ。そして、今年も素晴らしい思い出が一ページ追加されて、この宝物に加わった。180マイルのレースに参加出来ること自体、簡単な事では無くなり、メンバー全員の努力と協力が不可欠である事は言うまでも無い。このレースを走り切った満足と良きメンバーに恵まれ、彼らと喜びを分かち合った幸福に感謝して止まない。

そろそろ筆を置く事にするが、今年も船底への労りから、タッチ&ゴーを決行！もっと早く着いていれば湘南名物と暫しの休息を陸で取りたかったが、冒頭にも書いた様にサラリーマンは決して気楽な稼業では無いのである。この時には分らなかったIRCクラスB優勝の吉報は下田の沖合までお預けになった。

明るくなった湘南、江ノ島港を150マイル先の母港まで回航の為に後にした。

by M.A D B



蒲郡マリンカップ成績

レース名 第9回蒲郡マリンカップ

日時 2006年8月5日(日)

コース スタート-大島東-小島-仏島-大島西マーク-フィニッシュ

クラス C1(青)				Start時刻(時:分:秒)		11 0 0						
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	順位	
				TA	TMF	時	分	秒			秒	秒
リトルウインディー	375	C1	YAM21R&CPE	770.0	.7792	11	56	10	3370	2626	1	1
ホーフ	66	C1	YAM21C	780.0	.7692	11	57	28	3448	2652	2	2

クラス C2(青)				Start時刻(時:分:秒)		11 0 0						
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	順位	
				TA	TMF	時	分	秒			秒	秒
ジョガ-		C2	YAM19	835.0	.7186	12	30	01	5401	3881	1	5

クラス C3(緑)				Start時刻(時:分:秒)		11 05 0						
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	順位	
				TA	TMF	時	分	秒			秒	秒
ナイスフィール		C3	YAM31C	730.0	.8219	12	11	05	3965	3259	1	3
シャンガラ	2897	C3	FB	750.0	.8000	12	22	38	4658	3726	2	4

クラス R1(緑)				Start時刻(時:分:秒)		11 05 0						
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	順位	
				TA	TMF	時	分	秒			秒	秒
ハハ'	4825	R1	PION9 F&PB	700.0	.8571	11	58	39	3219	2759	1	9
さつき	5277	R1	Baltic 35	675.0	.8889	11	59	50	3290	2924	2	11
アクティブ'	3605	R1	YAM30CII	700.0	.8571	12	04	26	3566	3056	3	12
バンドラ	101	R1	Ventdefete LS	690.0	.8696	12	04	51	3591	3123	4	13
ハフィー	123	R1	YAM30S2	685.0	.8759	12	06	14	3674	3218	5	14

クラス R2(赤)				Start時刻(時:分:秒)		11 20 0						
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	順位	
				TA	TMF	時	分	秒			秒	秒
マーメイドプリンセスV	4407	R2	SLOT31	645.0	.9302	12	06	08	2768	2575	1	3
ガメラ III	4639	R2	SWING31	660.0	.9091	12	08	36	2916	2651	2	5
オデッセイ	4832	R2	IMS950	650.0	.9231	12	07	54	2874	2653	3	6
ルードリス	4932	R2	SLOT31	645.0	.9302	12	08	19	2899	2697	4	8
うらなみ	5075	R2	J92	645.0	.9302	12	10	39	3039	2827	5	10
メリサン	5020	R2	BENET FC30	645.0	.9302							DNF

クラス R3(赤)				Start時刻(時:分:秒)		11 20 0						
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	順位	
				TA	TMF	時	分	秒			秒	秒
フローレス	6155	R3	First36.7	620.0	.9677	12	01	51	2511	2430	1	1
アルミス	4774	R3	J/V9.6	625.0	.9600	12	04	23	2663	2556	2	2
ケーニッヒ	5650	R3	J/V9.6	625.0	.9600	12	05	23	2723	2614	3	4
ダンリュウ II	4135	R3	YAM33STR	605.0	.9917	12	04	36	2676	2654	4	7

第14回理事長杯ヨットレースご案内

(レース公示)

1 主催 財団法人愛知県都市整備協会

2 後援 愛知県 / 蒲郡市

3 協力 三河湾クルージングクラブ

4 開催場所 海陽ヨットハーバー

5 開催日 平成19年8月19日(日)

6 日程	9:00 ~ 9:30	受付
	9:30 ~ 10:00	艇長会議
	11:00	スタート
	14:00	表彰式

7 適用規則 本大会は「セーリング競技規則」に定義された「規則」を適用する。

8 表彰 総合 優勝 ~ 第3位、飛賞

スモールクラス 優勝

9 帆走指示書 レース開催当日受付時に交付する。

10 参加料 無料

11 参加艇条件 小型船舶安全検査に合格しているクルーザー型ヨット(乗員2名以上)

12 参加申込 所定の申込書に必要事項を記入の上、申し込むこと。

申込期限は8月12日(日)とする。ただし、先着20艇で締め切らせていただきます。

13 申込先 蒲郡市海陽町一丁目7番地 海陽ヨットハーバー

TEL <0533>59-8851 FAX <0533>59-8185

14 注意事項 (1) 出艇するしないの判断は各自の責任で行ってください。

(2) ライフジャケットは必ず着用してください。

(3) 主催者側はレース参加によって生ずる海上・陸上における人身事故又は艇の損傷等に対する責任は負いません。

大会参加申込書

平成19年 月 日

平成19年8月19日開催の第14回理事長杯ヨットレースの参加について、下記のとおり申し込みをします。

代表者 _____

記

艇種 _____

船名 _____

	ふりがな 氏名	住 所	TEL
スキッパー			
クルー			
〃			
〃			
〃			
〃			
〃			
〃			

管理事務所使用欄

受 付	担 当

MCC会費の納入のお願い

平成 19 年度 MCC 会費納入のお願い

平成 19 年度分 MCC 会費納入について、7 月末現在未納入の会員のかたは下記口座へ振り込みをお願いいたします。

振込先 (郵便貯金口座)

郵便貯金	通 帳 記 号	番 号
	1 2 1 4 0	5 6 3 4 6 8 0 1
口座名	三河湾クルージングクラブ 代表 中 村 孝	

振替 / 振込方法 (手数料は各艇でご負担ください)

- ・ 郵便貯金「ばるる総合口座」から振替。
- ・ 郵便振替電信振込依頼書による現金振込 (こちらの方が手数料が高くなります)

振込みをされるとき、「送金人住所氏名」欄には、氏名の前に<艇名>をご記入ください。

MCC 第 3 日曜日レース他行事時にも受け付けいたします。

MCC 会計 北河 英明